

交通インフラの資金調達について「ハノーファー・アルゲマイネ新聞」ラムザウアー交通相インタビュー

掲載日	2010年2月15日
国名	ドイツ
分類	道路事業全般
出典	連邦交通省(HP)
タイトル	Bundesminister Dr. Peter Ramsauer im Interview mit der Hannoverschen Allgemeinen Zeitung am 15.02.2010

(交通相)これから中期的、とりわけ長期的には、交通インフラのための資金調達は、従来の方法どおり連邦政府の予算では必要な措置を全て施せるだけの金額を賄えないでしょう。交通量が増加し、性能の良い交通システムの需要が高まっている一方で、公共の資金は乏しいのです。ですから我が省では、禁止事項を設けずに自由にアイデアを出し合うことにしています。

(記者)●つまり、新たな収入源を探しておられるのですね。

(記者)●乗用車向け課金案は引き続き議論から外されたままなのでしょうか。

(交通相)現時点においては乗用車向け課金「プロジェクト」は存在しない、というのが実際のところですが。しかし我が省の専門家たちは、交通インフラへの必要不可欠な投資のための中長期的な資金源を、どのようにして確保すればよいのかと憂慮しています。例えば官民協働において我々は良い経験をしました。今後はより多くの民間資本を動員したいと考えています。

(参考記事) 2010年2月12日「ボン・ゲネラルアンツァイガー」紙 ラムザウアー交通相インタビュー
http://www.bmvbs.de/Presse/Reden-Interviews-,1794.1120725/Bundesminister-Dr.-Peter-Ramsa.htm?global.back=/Presse/-%2c1794%2c0/Reden-Interviews.htm%3flink%3dbmv_liste%26link.sKategorie%3d